



その後、女性の自由を獲得するための運動がフランス各地で行われ、1975年には中絶の合法化に関する法律が施行されたのです。またドイツでは「既婚女性が仕事をする際には、夫の許可が必要である」という法律があり、ウーマンリブ運動によって、その法律の見直しに向けた流れが進んだ末に1977年新婚離婚法が施行されドイツの既婚女性は「夫の許可なしで働く自由」を手に入れたのです。今では信じられない世の中だったようです。フェミニズム第1波の時代やウーマンリブの時代と比較して、現代の女性の社会的立場は格段に向上していると言えます。参政権や自由に職業を選ぶ権利は、男性と平等に与えられているし、第1波から100年以上が経過した今、こうした女性の権利について疑問を抱く人はいません。また、人工中絶を選択するのも、もちろん自由です。専業主婦として家庭だけにとどまるのではなく、外で積極的に仕事をする女性が増えてきています。現代女性のライフスタイルは多様化し、ウーマンリブの時代と比較して、より「自分らしい幸せ」を追求できる時代になっていると言えるでしょう。しかしだからといって、現代女性の社会的立場が、男性のそれと完全に平等になったとは言えない状況です。レイプやセクシュアル・ハラスメントなどの性暴力にさらされる女性は、まだまだ多いのが現実です。2017年に盛り上がった「#MeToo運動（セクハラや性的暴行を受けた人たちがSNSで被害を告白）」は、そうした事実を端的に表しています。共働き家庭が増える一方で、「家事や育児・介護は主に女性が担う仕事」とみる風潮は、まだ残っているように感じます。そのため「ジェンダー平等の実現」は、2030年までに世界全体で取り組む課題（SDGs）の一つになっています。わざわざ「課題」として挙げられている点からも、現代女性たちの社会的立場の低さが判ります。世界経済フォーラムが発表している「ジェンダー・ギャップ指数2021」によると、日本の順位は156か国中120位とのこと。この順位は、先進国中最低レベルです。またアジア諸国で比較した場合でも、非常に低い結果となっています。日本の順位の上昇を妨げているのは、「経済」および「政治」の分野への女性参加が少ない点と言われています。このような状況から現代の女性の社会的立場には、まだまだ多くの問題が存在していることがわかるでしょう。過去の女性解放運動によって、さまざまな「自由」を手にしてきました、しかしまだ十分ではないと感じます。表向きはジェンダーフリーとうたいながら、女性の優しさに胡坐をかいて男性側が優遇されるのを目にすると、違和感を感じます。男性会員がまだ多いロータリークラブです、是非とも女性会員の増強を促し、胸を張って時代の最先端を行く行橋みやこロータリークラブでありたいです。

【幹事報告】

- ・本日例会終了後、1階楓の間で定例理事会を致します。役員、理事の皆様は宜しくお願い致します。
- ・柳川2020ローターアクトクラブ認証式並びにチャーターナイトのご案内が来ています。各クラブより4名までご招待となっています。日時、その他の詳細につきましては事務局までお尋ね下さい。



【委員会報告】

親睦委員会

本日の例会より、新しい試みとして会員の親睦を図るため例会での席を決めさせて頂きました。皆様ご協力有難うございました。



【いい人誕生日】



ロータリー財団委員会

内田 R に + 4 回目、村上 R に + 1 回目、松山 R に初回のポールハリスフェローのピン及び感謝状が来ています。皆さん、おめでとうございます。



ニコニコ会

第1回ニコニコ会ゴルフコンペのご案内です。

下記要領にて開催いたします。ふるってご参加いただきますよう宜しくお願い致します。

記

日 時：令和4年9月19日（月・祝日）

時 間：8時20分集合（8時49分スタート）

場 所：勝山御所カントリークラブ

（京都郡みやこ町勝山大久保4108 ☎0930-32-3211）

懇親会：茶々丸

会 費：6,000円

【本日のプログラム】

本日卓話を予定しておりました国際奉仕委員会のプログラムが、短縮例会の為中止になりました。田中委員長より原稿を頂いておりますので、掲載いたします。

国際奉仕委員会

委員長 田中聰樹 R



7月23日に博多において今年度初めての2700地区国際奉仕委員会が八仙閣にて行われました。カウンセラーの安増Pガバナーだけでなく次期ガバナーの吉田さん次期地区幹事の大神さんの参加も得てWCS, ICS, 国際奉仕と大きく変わった過程を聞くことが出来ました。元々は社会奉仕の国際版で日本は東南アジアの発展途上国の援助が主目的で過去には比国、インドネシア、タイ、ネパール、スリランカ等の国のロータリークラブと共同でその国の社会奉仕活動をサポートしてきました。私も10数年前は上記の5カ国との活動は全部担当参加してきました。飛行機代、ホテル代、現地での費用は全部個人負担で、数日間、日本を離れての奉仕活動で誰でも出来る奉仕活動ではありませんでした。（地区でも限られた人しか活動が出来ない制約がありました）それが国際奉仕委員会となって何がどう変わったか説明します。

1. 人頭税的に2700地区の全ての会員から年間1000円を徴収する事は前と同じだがそのお金の管理と割り振りは国際奉仕委員会の意見を聞いて財団が管理する。また集まったお金は国際奉仕活動に優先的に使うが限定はしない。

2. 現在、福岡と東南アジアの国々との直行便が少なく今までのように上記の5カ国と奉仕活動を援助するのは難しい、直行便のある国に限定されるであろう。

3. 現在、2700地区は台湾との交流が盛んであり、さらにこれを深めるために姉妹クラブの提携に国際奉仕委員会が積極関与し、グローバル補助金なども台湾と色々と提案など進めて行く。（これは既に当クラブはやっているし、さらに模索したい）

4. 旅費等の負担は従来どおりで、財団も委員会も補助金は出さない。（これが今後若い世代に活動を引き継ぐ際にネックになる可能性が心配）

5. 実際に現在の地区国際奉仕委員には40代、50代の若手が居ない。私が知っている人が委員会に沢山居ると言う事は年寄りばかりのメンバー構成、これを心配する。

当クラブにおいてもその懸念を考えながら地区の情報を見ながら若手の教育に重点をおいて、あせらずに少しずつ進みます。地区の方針が台湾重視になっていることから当クラブも姉妹クラブ委員会が国際奉仕に合併されているので色々とやり易いし予算もあれこれこだわらずに使える 以上

ニコニコBOX

山田千恵 R：ポールハリスフェロー賞の内田 R、村上 R、松山 R おめでとうございます。短縮例会にご協力ありがとうございます。

原田和博 R：皆様、暑さとコロナに気を付けて下さい。

有門功太郎 R：剣道で中3の息子が県大会3位となり、九州大会への出場が決まりました。

石田之茂 R：ニコニコします。

内田克彦 R：ポールハリスフェロー表彰、ありがとうございます。

緒方正憲 R：うちの卒業生が柔道の全国大会に出場します。

西村真人 R：内田さん、村上さん、松山さん、おめでとうございます。

西村 勝 R：初孫が誕生しました。

松井明男 R：ポールハリスフェロー賞、おめでとうございます。

松山貞徳 R：ポールハリスフェロー賞、ありがとうございました。

安永結美 R：お弁当、ありがとうございました。



ニコニコBOX
8月3日の合計12,000円
累計116,500円